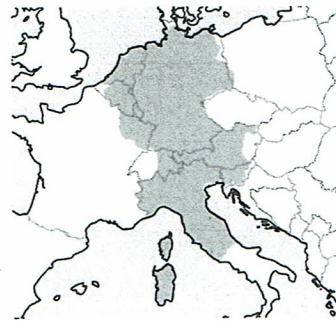


ドイツ国歌の歴史

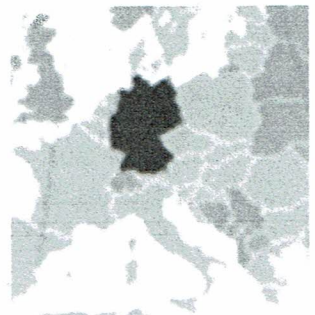
令和5年2月2日
横浜歴史研究会 大瀬克博

ドイツの歴史

- 4～5世紀 ゲルマン民族大移動
- 8～9世紀 フランク王国
- 843 東フランク王国
- 962 神聖ローマ帝国
- 1701 プロイセン王国
- 1815 ドイツ連邦成立
- 1871 ドイツ帝国成立
- 1914 第一次世界大戦
- 1940 第二次世界大戦
- 1945 敗戦 東西ドイツ分割
- 1989 ドイツ連邦共和国



神聖ローマ帝国



ドイツ連邦共和国

(出典：wikipedia)

ビスマルクと岩倉使節団

- 1871～73 岩倉使節団の訪米、訪欧
- 1873 ドイツ宰相ビスマルクと会談



岩倉使節団



(画像：wikipedia) 宰相ビスマルク

ビスマルクの提言

「富国強兵、殖産が
国家基盤を作る」

格言：

愚者は経験に学び、
賢者は歴史に学ぶ

ハイドンとオーストリアの歌

- 1797 オーストリア皇帝フランツ2世の誕生日の皇帝賛歌として初演
- 「神よ皇帝フランツを守りたまえ、
我らが良き皇帝フランツを！」
と唄った
- 皇帝が替わっても歌詞を変え第二次大戦前まで歌い付がれた。



J.F.ハイドン



フランツ2世

(画像：wikipedia)

ドイツ人の歌

時代背景：

- 1915 ドイツ連邦成立 39の領邦
- 1941 「ドイツ人の歌」誕生
- 1971 ドイツ帝国成立
- 1914 第一次世界大戦



ホフマン
(画像：wikipedia)

作詞：アウグスト・ハインリッヒ・ホフマン

ドイツの詩人

ハイドンの皇帝賛歌の曲に詞を付ける

1番

ドイツよ、ドイツ すべての上に この世の全ての上に
 これを守るため、庇うため 兄弟のように団結すれば
マース川からメメル川まで エチュ川からベルト海峡まで
 ドイツ、ドイツが全ての上に この世の全ての上にある

2番

ドイツの女性、ドイツの誠 ドイツのワイン、ドイツの歌は
 昔の美しい響きを保ち続ける この世の何処でも
 気高い行動へ奮い立たせるもの それは生涯変わることなく
 ドイツの女性、ドイツの誠 ドイツのワイン、ドイツの歌だ

3番

統一、正義、自由を 祖国ドイツに
 友よ求めて進まん 心を合わせて手を結び
 統一、正義、自由は 幸せの証
 この幸せの輝きの中 栄えあれ、祖国ドイツ

普墺戦争 1866 39領邦の争い

		プロイセン側	オーストリア側
帝国	1		オーストリア 1
王国	5	プロイセン 1	ザクセン、バイエルン、ハノーファー ヴェルテンベルク 4
大公国	7	メクレンブルA、B ホルシュタイン 3	バーデン、ヘッセン ワイマール 3
公国	10	ブラウンシュバイク、メクレンブルク ザクセン・コーブルクなど 7	ナッサウ、ザクセン・マイニンゲン ザクセン・ヒルドブルク 3
侯国	12	シュヴァルツブルク、ロイス ホーエンツォレルンなど 10	リヒテンシュタイン、シャウムブルク 2
自由都市	4	ハンブルク、フランクフルト ブレーメン、リュベック 4	

プロイセン側：24 オーストリア側：14 中立：1 (ルクセンブルク大公国)

ドイツ国歌の経緯

- 1922 ワイマール共和国 国歌に
- 1933 ナチスドイツ 1番のみ国歌
- 1945 第二次世界大戦敗戦 連合軍が国歌斉唱禁止
- 1952 西ドイツで3番のみ公式行事で斉唱開始
- 1991 ドイツ憲法裁判所が国歌認定

コンラート・アデナウアー

- 西ドイツ初代首相 1949～1963
- 1950 国会で独唱 国歌復活へ動く
「統一、正義、自由を心から願う
国民の心に深く根ざしている歌！」



アデナウアー

(画像：wikipedia)

日本の国歌

日本国歌発祥の地

- 横浜市本牧妙香寺で初演
- 薩摩藩軍楽隊が演奏
- 歌詞は薩摩藩琵琶歌から君が代
- 原典は古今和歌集
- 作曲：英国人フェントン



本牧妙香寺

(画像：wikipedia)

国歌の歴史

- 1880 (明治13年) 新たな曲を作り国歌「君が代」
作曲：林廣守 編曲：ドイツ人・エッケルト
- 1893 (明治26年) 学校儀式で斉唱開始
- 1903 (明治36年) 世界国歌コンクール 一等受賞
- 1930 (昭和 5年) 国歌認定
- 1945 (昭和20年) GHQ斉唱禁止
- 1958 (昭和33年) 文部省学習指導要領で推奨
- 1999 (平成11年) 国旗国歌法の成立

参考文献

- 1) 「ドイツ人の歌がドイツ国歌になるまで 森涼子 横浜日独協会講演レジュメ
- 2) 「ドイツ」 池内紀著 新潮社
- 3) 「ドイツ連邦がよく分かる本」 大野是著 秀和システム
- 4) 「ドイツの分断」 ペーター・ブンダー著 小学館
- 5) 「ドイツの歴史」 Wikipedia
- 6) 「君が代」 Wikipedia